



鑑島小だより

令和8年9月30日

校長 野口 典弘

第6号



<http://www11.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510036>



泥に負けず、最後までやり切った稲刈り

先日、5・6年生が学校田の稲刈りを行いました。「今年は、どの農家も大変なんだ。」学校田でのお米作りをサポートしてくださっている酒井さんがおっしゃるように、今年は雨の日が続き、どの農家でも稲刈りに苦労されているそうです。学校田も例外ではなく、田んぼは乾ききらず、まるで田植えの時のような泥状態でした。



子どもたちは足を取られながらの作業となり、大苦戦。気が付けば、お尻まで泥だらけになってしまった子もいました。足場の悪さに疲れが見え始め、作業の手も少しずつ止まりがちになっていました。一方で、酒井さんは休むことなく作業を続けてくださっています。空を見ると雨が降りそうな気配もあり、このままでは作業が終わらないかもしれません。

そこで私も、カメラを置き、作業着に着替えて子どもたちと一緒に田んぼへ入りました。実際に稲を束ねて運んでみると、その重さに驚かされました。泥と水を含んだ稲は想像以上に重く、お米作りの大変さを身をもって感じました。

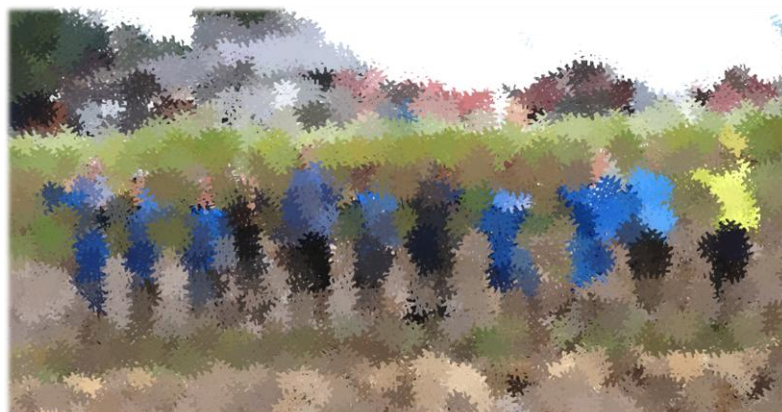
すると、不思議なことに、少し疲れた表情を見せていた子どもたちの動きが再び活発になってきました。互いに声を掛け合いながら作業を進め、最後には全員の力で予定していた稲刈りを終えることができました。作業後、酒井さんは「最後までできるとは思っていなかった。子どもたちの頑張りだね。」と笑顔で話してくださいました。



カメラを手に応援していた時と、一緒に泥だらけになって働いた時とでは、子どもたちの反応が明らかに違っていました。子どもたちと同じ場所に立ち、同じ苦勞を共有することの大切

さを改めて感じた一日でした。子どもたちは、大人から言葉で励まされるだけでなく、大人が共に汗を流す姿からも多くのことを学んでいるのだと感じました。

泥に負けず、最後までやり切った子どもたちの姿を、とても頼もしく感じました。



吉田小・鎧島小合同遠足 in 国営越後丘陵公園

9月25日（金）は天候にも恵まれ、吉田小学校の皆さんと一緒に国営越後丘陵公園に行ってきました。吉田小の仲間と一緒に歩いたり、昼食を食べたり、遊具で遊んだりしながら交流を深めました。



なかよしタイムでコミュニケーション



なかよしタイムはその名のとおり全校のみんなが仲良くなるための時間です。今月は「だるまさんがころんだ」を楽しみました。全校児童36名という人数は、みんなで遊ぶのにちょうどよく、子どもたちも大変盛り上がっていました。これからも月1回のなかよしタイム全校遊びを大切にしていきたいです。



中学校区あいさつ運動！！

9月28日（月）に秋の中学校区あいさつ運動を実施しました。鎧島小出身の吉田中1年生が来校し、元気のよいあいさつが玄関に響きました。10月5日（月）には秋の2回目のあいさつ運動を実施します。元気のよいあいさつで一日のよいスタートを切りましょう。



陸上^新ユニフォームお披露目します

今年、新しい陸上ユニフォームを整備しました。地域の有志の皆様からいただいたスポーツ育成会の会計からご支援いただいたものです。心より感謝申し上げます。

しかし、残念ながら着用を予定していた親善陸上大会は、競技場改修のため中止となりました。

そこで、10月8日（木）に実施予定の秋のマラソン大会で、5・6年生が新ユニフォームを着用し、お披露目したいと考えています。ぜひ、地域の皆様にもご覧いただき、子どもたちへ大きな声援を送っていただければ幸いです。